



小平市立小平第三中学校

小平三中だより

令和4年度 第5号

発行日

令和4年7月4日

「百見は一行にしかず」

校長 田村 孝夫

特別な教科道德の授業では、小学校から中学校までの内容の体系性を高めるとともに、これまで受け継がれ、共有されてきたルールやマナー、社会において大切にされてきた様々な道徳的価値などについて、生徒が発達の段階に即し、一定の教育計画に基づいて学び、それらを理解し身に付けたり、様々な角度から考察し自分なりに考えを深めたりする学習を行ってきています。

例えば、誰に対しても思いやりの心もち、相手の立場に立って親切にすること【思いやり、感謝】や正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること【公正、公平、社会正義】などを指導しています。

しかし、私自身を振り返ると普段の生活の中で読み聞き見るだけで、わかったものとして納得している部分が多々あります。そして、いざ実行してみるとなかなか上手くいかない経験も多々あります。

このように読み聞き見るだけではなく何事も実行してみて経験を重ねることが大切であると改めて思いました。

その時、ふと「百聞は一見にしかず、されど百見は一行にしかず」の言葉が浮かびました。

「百見は一行にしかず」の教えは、『見るだけでなく行動することが大切である』ということになります。

先日、地域の方から下記の内容のメールが学校に届きました。

「近隣でふざけている生徒を目撃した。注意しようとした瞬間に周りの他の生徒が『やめろ』『三中のプライドが傷つく』と言って止めていました。自分達で注意し合えることに感動しました。」

また、3年生の授業を参観しているときに、下記の様子を見ました。

休みの生徒の机にプリントが置かれました。隣の生徒がスッと机の中にしまっていました。

「係なの？」と訪ねるとその生徒は「係では、ありません。扇風機が回って、プリントが飛んでしまうので入れました。」と答えました。

三中生は、学校で見たり聞いたりしたことをしっかりと行動（『一行』ができ）に移せる素晴らしい生徒の集まりで誇りに思います。このような行動は、学校だけの指導ではなく保護者の日々、子どもたちへの接し方によるものだと思っています。

今後も『一行』ができる生徒を育てていきますのでよろしくご支援をお願いいたします。

生徒の活躍

○ソフトテニス部：第10ブロック女子ソフトテニス夏季選手権大会兼都大会予選

個人戦 準優勝

第5位 (都大会出場)

○柔道部：第33回東京都中学校第多摩ブロック体重別女子柔道大会

第3位

○陸上競技部：第73回東京都中学校地域別陸上競技大会

共通四種競技 第7位

800m 第3位

1500m 第1位

3000m 第1位

○第36回こだいら福祉のつどい「心にしみる短詩」

一般の部 優秀賞

佳作

佳作

○バドミントン部：第2回東京都中学校第8・10ブロックバドミントン選手権大会

男子シングルス 第5位

○卓球部：令和4年度小平市内中学校卓球大会団体戦 準優勝

令和4年度東京都中体連第10ブロック夏季大会 ベスト16 (都大会出場)